

組内のあんな寺

ごんな寺シリーズ③①



住職 北川 昌 信

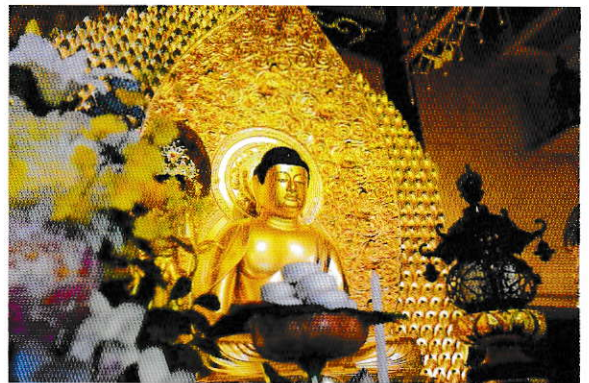
当山は京田辺市の旧府道木津八幡線沿いにあり、文禄四年（一五九五）に、観譽上人によって創建されたと伝えられています。

明治十五年（一八八二）に信行寺、同十七年（一八八四）には念仏寺と合併して現在に至っています。



旧本堂は天保五年（一八三四）の建立から二百年近くを迎え、著しく腐朽化したことから、平成二十六年より二年間の工期を経て、平成二十八年に竣工、落慶法要を営みました。

来るべき大地震に備えた耐震性、完全バリアフリー化、全館に床暖房を含めた空調機器や常時換気システム等、お参りいただく方々の安全確保と快適性を兼ね備えた本堂に生まれ変わりました。



当山の象徴的存在である千体佛は、享保年間に疫病退散を願って寄贈されたものですが、経年による劣化で修復に多くの手間と時間を費やしましたが、永年の悲願であつた輝きを取り戻すことができました。これまで両脇壇に五百躰づつ祀られていましたが、今回は御本尊を取り囲むように配置され、御本尊と共に念仏信仰の神髄に触れるような圧倒的な迫力で私たちに迫ってきます。

檀信徒一丸となつて建築推進に御尽力いただき、御本尊阿弥陀如来座像も新調修復作業が施され、見違えるように立派になりました。また、本堂南面に安置されている阿弥陀如来立像は鎌倉時代後期の作風を色濃く残

しており、美術院国宝修理所にて無事修復を終え、京田辺市の文化財に指定されています。

当山の年中行事は、春秋のお彼岸やお十夜の他、毎年八月十日には「十日盆」精霊迎え施餓鬼法要を営んでいます。これは、早朝より多くの参詣者にお越しいただき、水塔婆を書いて「迎え鐘」を撞き、高野槇の枝に「お精霊」を迎えて家に持ち帰り、先祖を偲ぶという昔からの盆行事です。

それ以外にも、様々な芸術家をお迎えしてのイベントや、京田辺市音楽家協会様とのコラボによるコンサート等、多彩な取組を数多く開催し、御参加いただいた方から好評を得ています。

まだまだ浅学菲才の身ですが、社会の変化に真摯に向き合い、檀信徒各位や地域の皆様方の御協力を得て、寺門興隆に努めて参りたいと存じます。 合掌九拝

当山のネット活用

ホームページ



YouTube チャンネル



Instagram

